

めざせ最優秀賞! ハーモニーを響かせよう!

この地球のどこかで

ほら昨日までの
ふり続いた雨も上がり
頬に夜明けの風を受けている

みんな少しずつ
大人に変わって行(ゆ)くけど
あの日語った夢は
いつまでも色あせることはない

歩いて行く道は
きっと違うけれど
同じ空見上げているから
この地球のどこかで

まだ耳の奥に
あの日の歌ひびいて(い)る
(共に流した涙)
どこまでも嘘のない勇気だね

歩いて行く道は
きっと違うけれど
同じ空見上げているはず
この地球のどこかで

歩いて行く道は
きっと違うけれど
同じ空見上げているから
この地球のどこかで

1 組

3 組

夏の草原(くさはら)に 銀河は高く歌う
胸に手をあてて 風を感じる
君の温もりは 宇宙が燃えていた
遠い時代のなごり 君は宇宙
百億年の歴史が 今も身体に流れてる
光の音が天(そら) 高くきこえる
君も星だよ みんなみんな
光の音が天(そら) 高くきこえる
君も星だよ みんなみんな

時の流れに 生まれたものなら
ひとり残らず 幸せになれるはず
みんな生命(いのち)を燃やすんだ
星のように 蛍のように
光の音が天高くきこえる
僕らはひとつ みんなみんな
光の音が天高くきこえる
君も星だよ
みんなみんな
光の音が天高く
きこえる
君も星だよ
みんなみんな

COSMOS

夏休みに何度もCDを聴いて、
しっかりと歌詞を覚えよう!

4 組

君の夢が一つ 叶おうとしているね
熱い思い重ねて たどり着いた場所
ここまでの道のりが 長く厳しかったこと
たくましくなった君の背中が教えてくれる

この日の喜びと この日の悔しさを
忘れないように 深く胸に刻み込もう
精一杯の声を出した
この瞬間がいつかきっと
君が生きていく力に
変わる時が来るから

君の夢が一つ
生まれようとするね
何度も迷いながら たどり着いた道
あの日がゴールじゃなくて
スタートだったんだと
真っ直ぐに輝く君の瞳が
気づかせてくれた

あの日の喜びと あの日の悔しさを
つまずいた時は そっと思い出してみよう
精一杯の力出した
あの瞬間がいつかきっと
君が生きていく誇りに変わる時が来るから

精一杯の汗と涙 流した数だけきっと
君が生きていく強さに変わる時が来るから

時を越えて羽ばたいて

時を越えて

5 組

君の瞳に 花開く
夢をかなでる 心
風に吹かれるこの道さえも
星明かりに照らされ
今 ただ一人歩こう
胸を震わせるときめきを
空と大地に歌おう
悲しみも笑顔もぬくもりも
熱い思いに揺れて
今 抱きしめて歩こう
旅立ちの勇気を
地平線の光と分かち合うこの時
微笑みながら ふりむかずに
夢をつかむ者たちよ
君だけの花を咲かせよう

争いの日々を乗り越えて 青空に歌う時
かけがえない命のはてに
名もない花を咲かそう
今 地球(ここ)に生きる者よ
旅立ちの勇気を
虹色の彼方に語りかけるこの時
微笑みながら ふりむかずに
夢をつかむ者たちよ
君だけの花を咲かせよう
夢をつかむ者たちよ
君だけの花を咲かせよう

旅立ちの時

~Asian Dream Song~

あなたへ

—旅立ちに寄せるメッセージ

白木蓮にも似た その白い翼で
まだ見ぬ世界、未来という
果てしない空へ
旅立ってゆくのですね
まばゆいほど輝いて
旅立ってゆくのですね
温かな巣をあとにして
愛と涙 そして知るだろう
人生という名の迷路の果てに
信じ合えることの喜びと
悲しみを知った分
優しくなることを

いろんなことがあって
自分を嫌いになった
なぜ僕だけがこんな目に遭うと
他人(ひと)を羨んだりもしたさ
荒んだ心に刺さったのは
意外な奴の言葉だった

も(う)一度
も(う)一度 あの空を
飛べるかもしれないと思った
張り裂けるような 悲しみの行き場
煮えたぎるような 憎しみの出口
時よ おまえは見てきたのだろう
憎しみの極みを 戦いの果てを

時の女神よ 教えてください
握り合えない 手と手ならば
隔てる心の壁がいつか
癒され なくなる日は
くるのでしょうか

手と手をつなぎ その手をかざそう
人生という名の迷路の果てに
信じ合えることの喜びと
悲しみを知った分 優しくなる

愛と涙 あなたの手の温もり
人生という名の迷路の果てに
信じ合えることの喜びと
悲しみを知った分 優しくなる

2 組